

# オゾン層に影響のない 総合土壌消毒剤

クミアイ

# ガ"スタート"®

微粒剤



土を守る。

土壌病害虫から



⑤ 本剤を処理した圃場の深さ10cm位の土を広口ビンに半分入れ、同様に本剤を使用していない土壌を別の広口ビンに入れて、だいこん、レタス等、発芽の早い種子を播いて発芽の状態を見ます。発芽状態に差がなければ作物を植えることができます。発芽状態が悪い場合は再度、圃場のガス抜きをしてください。

## ⑤ 発芽テスト



## ① ガスタートード散布

① 土壌を耕起、整地したのち散粒機、肥料散布器等の器具または手(手袋着用)で均一に散布してください。



## ④ 被覆除去 ・ガス抜き



④ 被覆後一定期間の後、ビニールの被覆を除去し、耕起によるガス抜きをください。ガス抜きは2~3日間隔で2回以上、必ず行ってください。

## ガスタートードの 上手な使い方 (本圃の場合)

それぞれのポイントを守って  
使用してください。

## ② 混和

② ローターを用いて十分に混和してください。



## ③ 散水・被覆

③ 土壌が乾燥している場合は十分に灌水してください。水分が不足すると、効果不足や薬害の原因となります。土壌の湿り具合は軽く握って、形が崩れない程度が適正です。散水後、有効なガスが抜けないようにビニールで被覆もしくは鎮圧後散水してください。特に地温が25℃を超える時はガスが抜けやすいので確実に被覆してください。

自然に学び自然を守る



適用作物・病害虫・雑草と使用方法

2018年12月現在の登録内容

Table with columns: 作物名, 適用病害虫及び雑草名, 10アール当り使用量, 使用時期, 使用方法. Contains detailed application data for various crops likeキャベツ, トマト, ナス, etc.

■使用方法 \*豆類(未成熟、ただし、えだまめ、えんどう、さやえんどう、さやいんげん、未成熟そらまめを除く) ※本剤及びダズメットを含む農薬の総使用回数：1回
※(1)本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和してください。...

■使用上の注意
●本剤を処理する前に耕起整地してください。
●本剤は土壌中の水分によって分解し、ガスを発生することによって効果を発揮するもので、土壌の種類、水分含量、温度等により効果にふれが出るので、以下のことに十分留意してください。
①地温が10℃以下のときは使用しないでください。
②砂質土壌や乾燥した土壌で使用する場合は、ていねいに混和した後灌水して適度の水分を与えてから被覆してください。
③次の場合はガスの拡散が遅いので被覆期間を適宜延長してください。
ア.重粘土質の土壌の場合
イ.降雨などにより土壌水分が多場合
ウ.地温が低い(15℃以下)場合
●センチュウが多発する条件、或いはトマト、なすではセンチュウ類に対する効果が劣る場合があるので、センチュウを防除対象とする場合には、他の防除方法と併用して使用してください。
●ガス抜きが不十分であると薬害が生じるおそれがあるので、少なくとも2回は耕起によるガス抜きを実施してください。なお、ガス拡散の遅い条件の場合は特にていねいに行ってください。
●本剤を全面に処理する場合、深さ15～25cmに土壌と十分に混和してください。特に、やまのいもに使用する場合は、深さ50～60cmに土壌と十分に混和してください。混和後ビニール等で被覆または鎮圧散水してガスの蒸散を防いでください。7～14日後被覆を除去して、ガス抜きを行ってください。
●本剤を苗立枯病または芝の目土用土に処理する場合、本剤を十分に混和後ビニール等で被覆し、7～14日後被覆を除去して、

- 使用前にラベルをよく読む。
●ラベル記載以外使用しない。
●小児の手の届く所には置かない。
●防除日誌を記帳する。



クミアイ化学工業株式会社
自然に学び 自然を守る
1636(18-12)
本社：東京都台東区池之端1-4-26 〒110-8782 TEL03-3822-5036